

令和3年(2021年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：大阪高等学校

協定締結日：2021年12月1日

活動状況：継続中

連携先窓口：大阪高等学校 進路指導部長 金川昌由先生

活動資金：大学予算

担当教員(所属)：上田 智久(産学官・地域連携センター)

活動体制(単位)：学部

関連教員(所属)：小川 繁之(生物産業学部 自然資源経営学科)

活動目的：オホーツク学を通じた高校教育の質的向上

活動内容：

1. 「オホーツク学」研修に向けての打ち合わせを実施

2022年7月29日～8月1日に予定している、オホーツク学研修の打合せを実施した。打ち合わせ場所：大阪高校 進路指導室、空き教室、オリエンテーションルーム

日時：2021年11月5日 10：00～18：00

：2021年12月13日 10：00～18：00

：2022年1月31日 12：00～17：00

：2022年2月18日 10：00～17：00

：2022年2月21日 16：00～20：00

：2022年3月19日 12：00～17：00

2. 「オホーツク学」講義を実施 (2022年度実施)

場所：大阪高校 演劇ホール

日時：2022年4月15日 13：00～14：00 (30分×2回)

対象：1年生 400名程度

場所：探究部教室

日時：2022年4月15日 15：00～15：30

対象：探究コース2年生 25名程度

「オホーツク学」研修の内容は以下の通り。

高大連携教育プログラム（令和4年度予定）

大阪高等学校との連携によるオホーツク学研修（3泊4日）

プログラム目標：高校間交流を通じてオホーツクの未来を考える

・網走桂陽高校（商業科・事務情報科）との活動報告会

両高校による事前学習を通じて、「オホーツク地域をより魅力的に見せる方法（地域活性化）」を考える。

プログラム目標：持続可能な第一次産業のあり方を考える

・持続可能な漁業のヒントを探る

漁業体験 + 研究者からの話題提供

・流域における環境調和型酪農の意義を体験する

酪農体験 + 生産者からの話題提供～酪農家・畑作農家・漁業者が連携する意義や難しさ～

参加者： 生徒 50 名+教員

参加高校（予定）

大阪高等学校

大阪夕陽丘学園高等学校

ヴェリタス城星学園高等学校

大阪国際大和田高校

大阪電気通信大学高等学校

興国高等学校

募集を6月末締切（50名）

5～6月（事前学習会：各高校で実施）

7月 合同夏季講座（7月25～27日）

7月29日（金）： 移動+網走市内視察+交流会

【移動スケジュール】※移動は貸し切りバス

関西空港→(peach)→女満別空港(11:20着)→食事(オホーツクバザール)→網走市内視察(網走寒冷地農場→濤沸湖)→ベーシック→てんとらんどオートキャンプ場

●網走市内視察

→ 網走寒冷地農場（14：30～15：30）、濤沸湖（16：00～16：30）

7月30日（土）：生物産業学部のオープンキャンパスの参加+酪農体験

30日の課題：各学科がどのように地域活性化に取り組んでいるのかをまとめる

：オホーツクをより魅力的にするための企画案を考える

：環境調和型酪農の意義と課題を考える

【移動スケジュール】※移動は貸し切りバス

てんとらんど→農大→津別町→農大→てんとらんど

●オープンキャンパス（9：00～12：00）

生物産業学部のオープンキャンパスに参加し、①各学科がどのように地域活性化に取り組んでいるのかを知ることで、②オホーツクをより魅力的にするための方法を考える。

●酪農体験（14：00～15：30）

有機酪農を展開する牧場にて酪農体験と生産者からの話題提供を通じて流域における環境調和型酪農の意義と難しさを体験する。※網走川流域の会の取組も紹介

●振り返り会（17：30～）：農大を予定

1日目の課題をグループごとに実施

7月31日（日）：網走桂陽高校（商業科・事務情報科）との連携授業（活動報告会の実施）+網走市内視察

31日の課題：高校間交流を通じてオホーツクの未来を考える

：オホーツクの広大な自然を体感する

【移動スケジュール】 ※移動は貸し切りバス

てんとらんど→農大→網走市内視察（流氷館→道の駅網走→能取岬）→農大→てんとらんど

●大阪高校×網走桂陽高校 連携授業（9：00～12：00）

事前学習の成果を両高校とも報告するなかで、オホーツク（特に網走市）をより魅力的に紹介するための方法を共有・意見交換し高校間の親睦を深める。

●網走市内視察

→ 流水館（13：00～14：00）、道の駅網走（14：30～15：00）、能取岬（16：00～16：30）

●振り返り会（17：00～）：農大

グループごとに実施

8月1日（月）： 漁業体験＋移動

1日の課題：持続可能な漁業のヒントを探る

【移動スケジュール】※移動は貸し切りバス

てんとらんど→能取湖 or 網走湖→女満別空港→（peach）→関西空港→解散

●漁業体験（8：00～10：00）

漁業体験と研究者からの話題提供を通じて持続可能な漁業のポイントを発見する。

※海洋水産学科・園田先生からの話題提供を予定

課題・改善点：オホーツク学研修の実施・受け入れ体制を強化したい。